

取扱説明書

《特記事項》

(1)ご契約車両と違う車両を駐車される場合は、必ず管理会社に変更申請をしてください。審査通過後、ご駐車いただきますようお願いいたします。(代車の場合も同様)

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

2. 運転操作の説明

はじめに(駐車場管理責任者の方へ)

三菱プレストパークは各種の自動制御機構と安全装置により、運転操作はきわめて簡単に行えますが、営業運転に入ってから

- ・ 事故の防止
- ・ 機械寿命の延長
- ・ 無駄な電力消費の防止

は管理責任者として、特に留意すべき問題です。これらに対する最も効果的な方法は、オペレータ又は運転者の習熟した運転操作の励行にあります。この章の説明に従って、正しい運転操作の励行を実施していただくよう、説明に先立ち特にお願ひ致します。

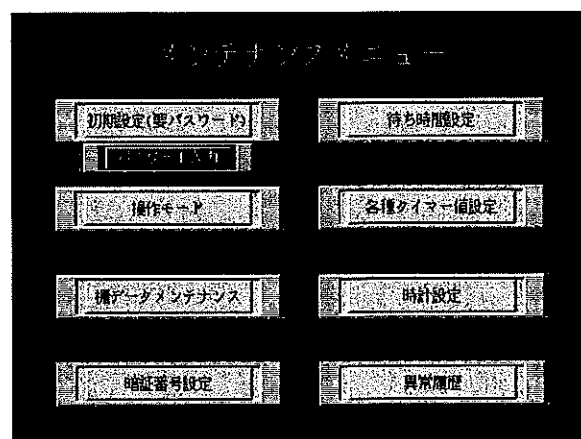
2.1 始業時の操作

- 操作盤の⑩自動、メンテナンス切り換えスイッチを‘メンテナンス’側へ切り換えて下さい。

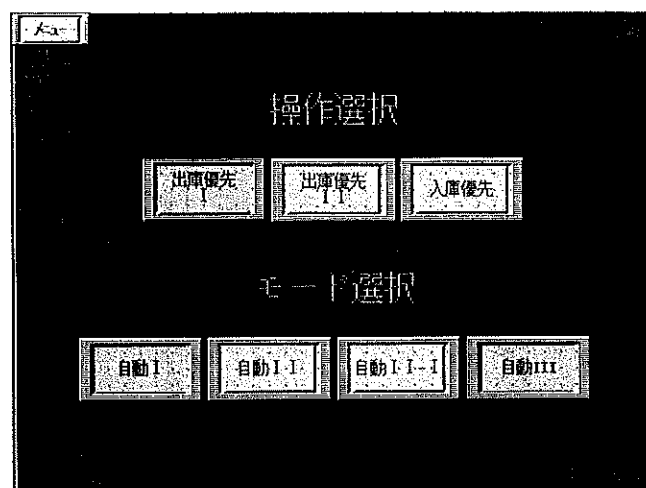
(付図 操作盤外形図参照)

- メンテナンスメニュー画面が⑪ELディスプレイに表示されます。

(注) 画面は機種により多少異なります。



- 1.操作モードを選択します。
ディスプレイの“操作モード”をタッチして下さい。
右の画面になります。



操作

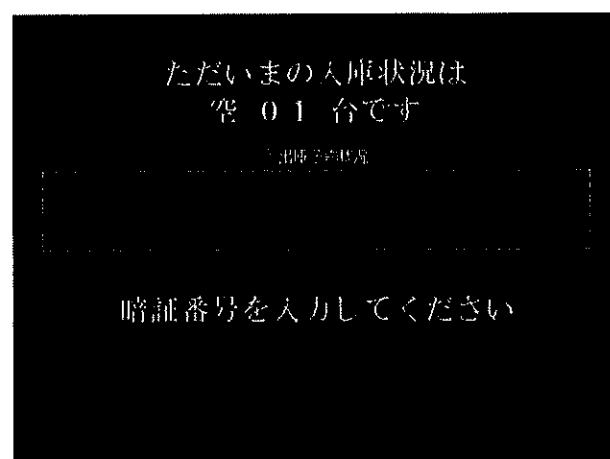
入庫優先：出庫操作後、空パレットは乗入階に残ります。
出庫優先：出庫操作後、空パレットは格納階へ格納されます。

モード

下記のいずれかを選択します。
自動I：パレットNo.を選択して入出庫を行ないます。
自動II：暗証番号を入力して入出庫を行ないます。
自動I-II：上記自動I，自動IIを同時に行なうことが出来ます。
自動III：リモコンを使用して入出庫操作を行います。(オプション)
(上記いずれかのモードと併用して選択してください。自動IIIのみのモード選択は出来ません)
操作モードを選択して下さい。
(該当する操作とモードをそれぞれタッチして下さい。)

- ⑩自動、メンテナンス切換スイッチを
‘自動’側へ切り換えて下さい。

- 右記表示により、始業時の操作は完了しました。



▲ 注意

メンテナンスメニューにおいて、上記“1. 操作モード”以外の項目は決して操作しないで下さい。
不具合発生の原因となることがあります。

2.2 操作手順 (付図 操作盤外形図参照)

入庫車の安全は運転者のプレストパーク安全操作が決め手となります。次の手順を確実に励行して下さい。

2.2.1 自動Ⅱ (暗証番号入力) 操作手順

入出庫操作 (付図 操作盤外形図参照)

最初は右の初期画面が表示されています。

③ テンキーボタンにて暗証番号を
4桁入力して下さい。

あらかじめ、登録された暗証番号が入力された時のみ有効となります。

誤った暗証番号が入力された場合‘もう一度正しい暗証番号を入力して下さい。’が表示されます。

(⑥ 取消ボタンを押す、又は30秒以上ボタンを押さないと初期画面に戻ります。)

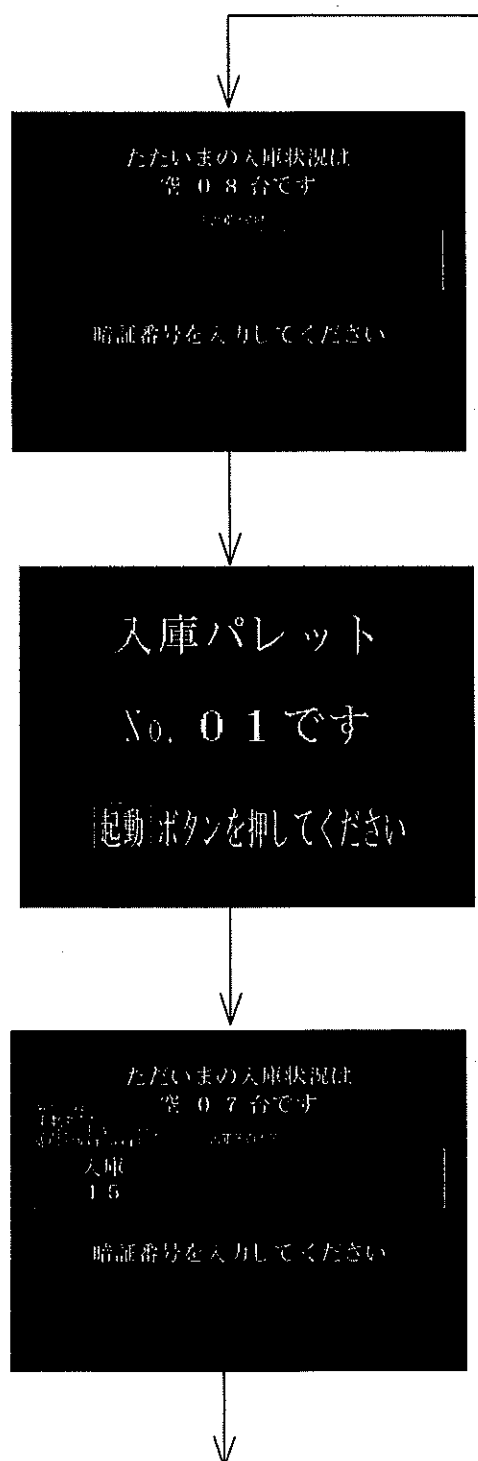
入力された暗証番号により、入庫又は出庫が自動的に選択されます。右の様な画面が表示されますので、④ 起動ボタンを押して下さい。

注) 必ずこの画面になってから起動ボタンを押して下さい。

待ち時間表示の画面になり、機械が動きます。
(待ち時間は概算時間なので運転パターンにより誤差を生じます。)

パレット到着後、出入口扉が開きます。

操作盤画面表示内容



出入口扉が全開となったら、運転者は車をゆっくりと前進させ、入庫指示灯の停車が点灯する位置に車を止めて下さい。車を入れない場合又は出庫しない場合は、⑥取消ボタンを押し、続いて⑤扉閉ボタンを押して下さい。出入口扉が閉まり空のパレット又は車がそのまま格納されます。

入庫の際は運転者場外退出後、場内の無人を必ず確認してから、⑤扉閉ボタンを押して下さい。出入口扉が閉まり、パレットが格納されます。

運転者以外は
降車させて
車を入れてください

場内の無人を確認の上
扉閉 ボタンを押してください

扉が閉まるまで
しばらく
お待ちください

入庫操作 (付図 操作盤外形図参照)

操作盤画面表示内容

最初は右の初期画面が表示されています。

② **入庫** ボタンを押して下さい。

画面が切り替わり、現在の入庫状況の画面になります。

車が入庫されていない番号を

③ **テンキー** ボタンにて **2 桁** 入力して下さい。

(1 桁番号の時は、0 1 の様に入力。)

※ 画面上で車が白く塗られているものについては既に入庫済パレットとなります。

(⑥ **取消** ボタンを押す、又は 30 秒以上ボタンを押さないと初期画面に戻ります。)

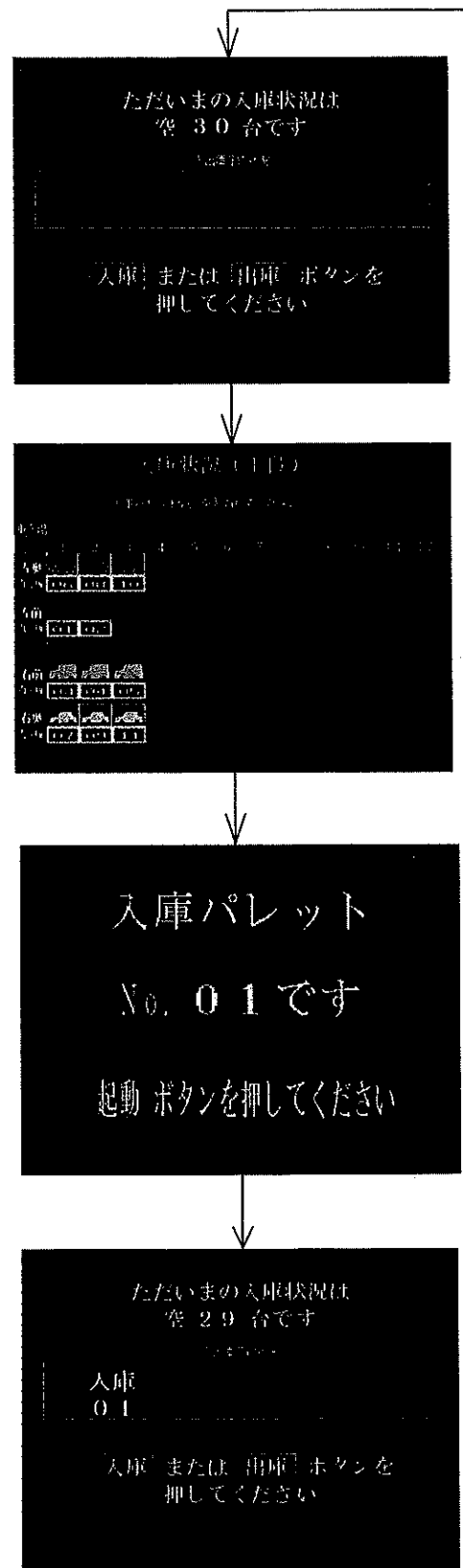
※⑬ **+** ボタンを押すことにより段数表示が切り替わります。

右の画面となりますのでパレット番号を確認してから

④ **起動** ボタンを押して下さい。

待ち時間表示の画面になり、機械が動きます。(待ち時間は概算時間なので運転パターンにより誤差を生じます。)

パレット到着後、出入口扉が開きます。



出入口扉が全開となったら、運転者は車をゆっくりと前進させ、入庫指示灯の停車が点灯する位置に車を止めて下さい。車を入れない場合は、⑥取消 ボタンを押し、続いて⑤扉閉 ボタンを押して下さい。出入口扉が閉まり空のパレットが格納されます。

運転者場外退出後、場内の無人を必ず確認してから、⑤扉閉 ボタンを押して下さい。出入口扉が閉まり、パレットが格納されます。

運転者以外は
降車させて
車を入れてください



場内の無人を確認の上
扉閉 ボタンを押してください



扉が閉まるまで
しばらく
お待ちください

出庫操作 (付図 操作盤外形図参照)

操作盤画面表示内容

最初は右の初期画面が表示されています。

② **出庫** ボタンを押して下さい。

画面が切り替わり、現在の入庫状況の画面になります。

出庫させる車のパレット番号を

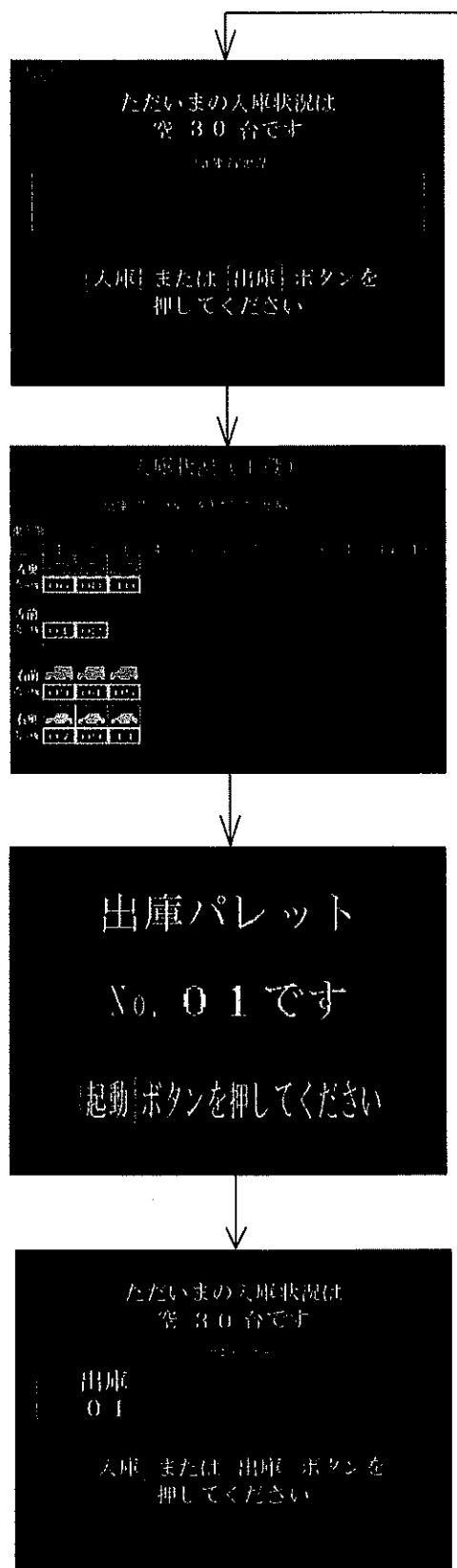
③ **テンキーボタン**にて2桁入力して下さい。(1桁番号の時は、01の様に入力。) ※画面上で白く塗られているものについては既に入庫済のパレットとなります。(⑥ **取消** ボタンを押す、又は30秒以上ボタンを押さないと初期画面に戻ります。)

※⑬ **+** ボタンを押すことにより段数表示が切り替わります。

右の画面となりますのでパレット番号を確認してから④ **起動** ボタンを押して下さい。

待ち時間表示の画面になり、機械が動きます。(待ち時間は概算時間なので運転パターンにより誤差を生じます。)

パレット到着後、出入口扉が開きます。



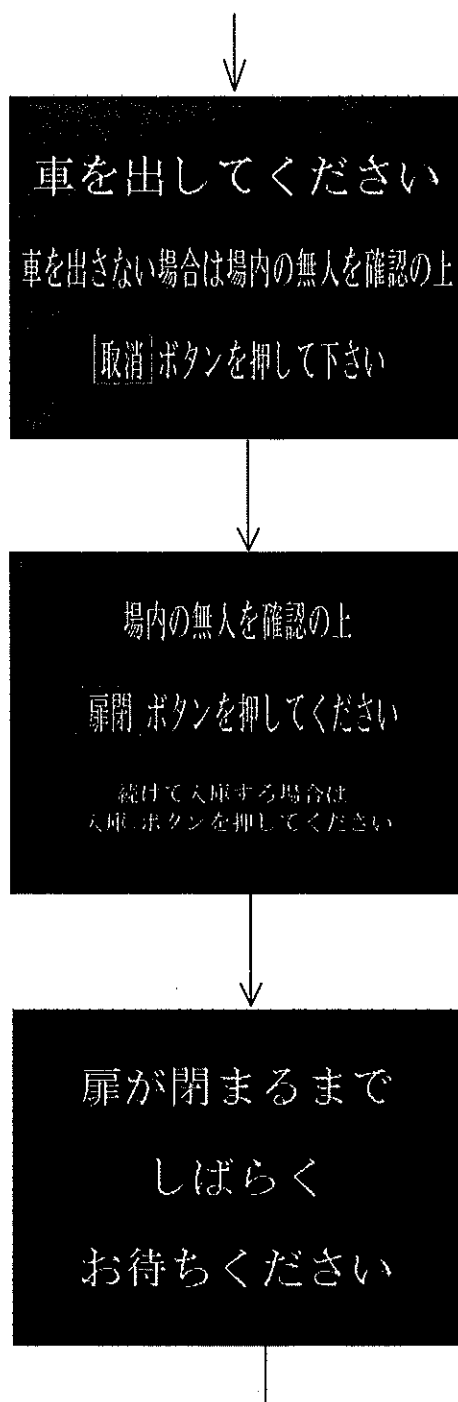
出入口扉が全開となったら、運転者は場内へ入り車をゆっくりと前進させ、出庫させて下さい。車を出さない場合は（車内に忘れ物をした場合は⑥取消ボタンを押し、続いて⑤扉閉ボタンを押して下さい）出入口扉が閉まり、実車のパレットが格納されます。

車の位置が正しくないと‘場内をもう一度確認して下さい’等の表示が出ます。

出庫車場外退出後、場内の無人を必ず確認してから、

⑤扉閉ボタンを押して下さい。

出入口扉が閉まり、パレットが格納されます



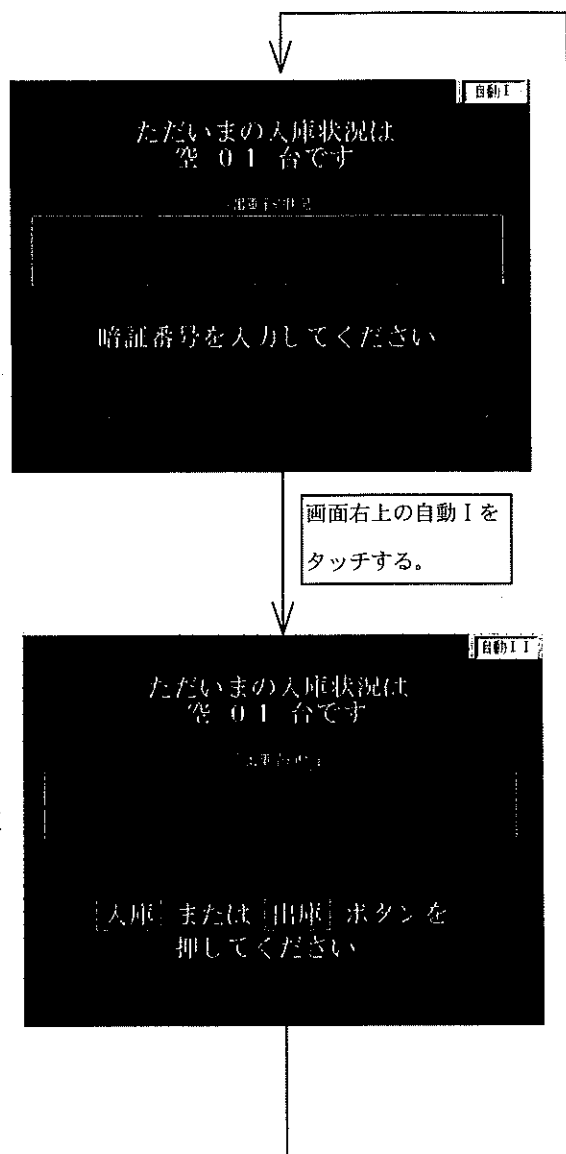
入出庫操作（付図 操作盤外形図参照）

操作盤画面表示内容

最初は右の初期画面が表示されています。
パレット番号で呼び出す場合は、画面右上の
‘自動Ⅰ’の所に触れて下さい。（タッチ
パネルとなっています。）
画面表示が自動Ⅰの画面に切り替わります。

画面表示が自動Ⅰの画面に切り替わります。
以下自動Ⅰと同様の操作を行って下さい。

操作が完了すると画面表示が自動Ⅱの画面に
切り替わります。



2.3 車入庫時の注意事項

入庫車の安全は運転者の安全注意事項の遵守及び駐車場操作者の安全操作が決め手となります。次の手順を確実に励行して下さい。

2.3.1 車を入庫させる場合

- プレストパーク収容車寸法(1.3参照)以外は決して入庫させてはなりません。
入庫できる車は、制限寸法、制限重量以下の乗用車のみで、二輪車は入庫させないで下さい。また、エンジン停止後最低地上高さ 120mm 未満となる、油圧サスペンション、エアサスペンション付の車は入庫出来ません。
- 入庫させる車は扉前で必ず一旦停止させ、次のことを励行して下さい。
 - a) 運転者以外の同乗者を全員降車させて下さい。
 - b) アンテナを低くして下さい。(自動車電話用のアンテナ等で制限高さを超える物は取り外して下さい。)
 - c) キャリアやタクシーの屋根上表示器等制限高さを超える物は取り外して下さい。
 - d) タイヤチェーンは取り外してください。
 - e) 降雪時、車に雪が積もっている場合は、必ず入庫する前に落として下さい。
- 運転者はパレット中央に正しく車を載せるように静かに車を発進させて下さい。この時、パレット床の誘導線上に車輪が乗るように運転願います。又、軽自動車・小型車は、2本の前輪用車止めの中にタイヤが入るよう停車させて下さい。
- 場内正面奥に見える入庫指示灯の「停車」が点灯するまで静かに直進させて下さい。この時、車高検知センサーが動作すると、入庫指示灯の「後退」が点滅、又は、「車高オーバー」が点灯し、警報ベルが鳴ります。運転者は車を必ず一度搭外へ出し、車の高さを確認して下さい。
- 入庫指示灯の「停車」が点灯したら車を停車させ、次の事を励行して下さい。
 - a) 運転者はサイドブレーキをしっかりと引いて下さい。
 - b) オートマチック車はギアをP(パーキング)に入れて下さい。
 - c) 車内にタバコの吸いがら等がくすぶっていないかを確認して下さい。
(火災防止の為、吸い殻・可燃物などは必ず外へ出してください。)
 - d) 車の窓を完全に閉めて下さい。
 - e) ドアミラーを必ずたたんで下さい。
(自動ドアミラーの場合はたたみ忘れに注意して下さい。)
 - f) 運転者は必ずエンジンを止めてから降車し、確実にドアを閉めて下さい。
 - g) 車のどの部分(特にドアミラー)もパレットからはみ出していない事、また、タイヤが車止め内に収まっている事を確認してから場外へ退出して下さい。
- 運転者はプレストパーク場外に出ましたら、場内の無人及び、安全を確認の上
⑤ 「扉閉」ボタンを忘れずに押して下さい。(付図 操作盤外形図参照)
(注意) ドアミラーはみ出しの場合、扉閉後すぐに扉が反転し扉開状態になりますのでドアミラーを再び確認の上⑤「扉閉」ボタンを忘れずに押して下さい。

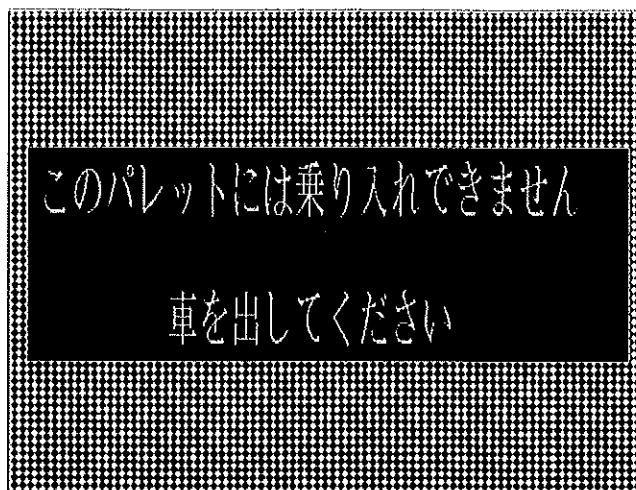
▲ 危 険

- ・制限寸法、制限重量を超えた車を入庫させた場合、装置又は車の破損につながる事があります。
- ・車を場内に乗り入れる時は必ず静かにゆっくりと乗り入れて下さい。
これを怠ると装置又は車の破損につながる事があります。
- ・降雪時、車の上に乗っている雪を十分に落とさずに入庫させると、センサ等の誤動作の原因となる事があります。
- ・車を入庫させた際、必ずサイドブレーキを引き、ドアミラーをたたみ、すべてのドア、トランク、ハッチバック等がロックされていることを確認して下さい。
これを怠ると装置又は車の破損につながる事があります。
- ・ドアミラーがはみ出して出入口扉が反転し開いた状態になった場合必ずドアミラーを確認して、出入口扉を閉めて下さい。
これを怠ると次の入出庫の妨げとなります。
- ・場内へは運転者以外、決して立入らないで下さい。
又、操作盤の操作は運転者本人が責任を持って行うか、駐車場管理人(係員)が行い、扉閉ボタンを押す際には必ず場内が無人である事と場内外の安全を確認して下さい。
これを怠ると、人身事故等の重大災害につながる場合があります。
- ・道路の出入は、歩行者の巻き込み、走行中の車両との接触の危険性がありますので、左右を充分に確認してください

2.3.3 出庫後の空パレットへの車乗入れについて

- 出庫操作を行い、車を場外へ出した後は、必ず⑤ **扉閉** ボタンを押して扉を閉める必要があります。(付図 操作盤外形図参照)
誤って出庫後の空パレットへ車を入れると操作盤の画面が次の表示となり、車は入庫できません。この時は、車を場外へ出し、空のパレットを格納した後、入庫呼出しを行う必要があります。

注) 画面表示は機種により
多少異なる場合があります。

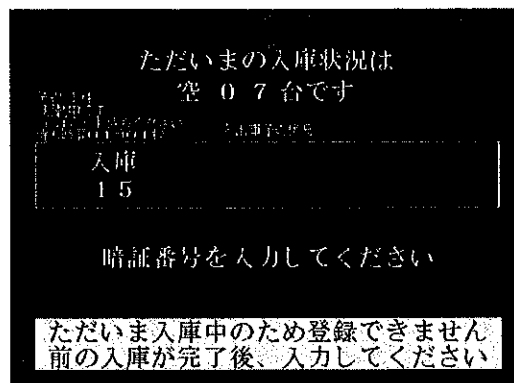


- ただし、**自動Ⅰ** 運転の時のみ、次の操作により出庫後の空パレットに車を入庫できます。
車出庫後、⑤ **扉閉** ボタンを押す代わりに、② **入庫** ボタンを押して下さい。

2.3.4 暗証番号入力の詳細入庫について

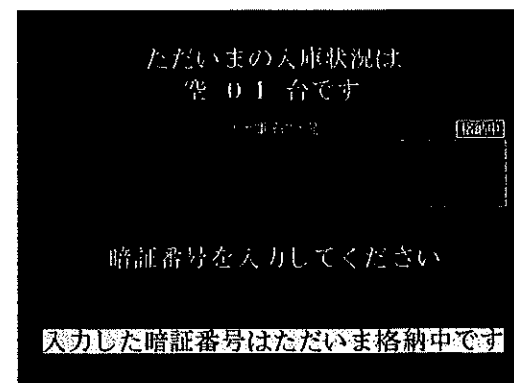
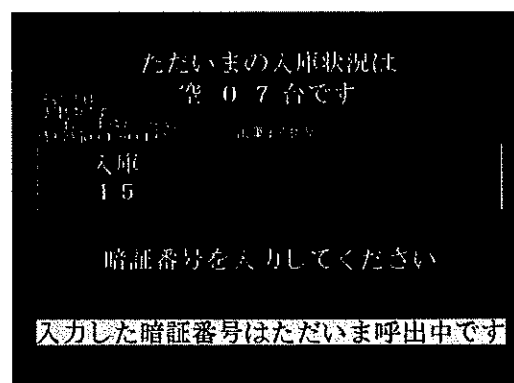
- 入庫操作を行い、その後に別の入庫操作を行うと操作盤の画面が次の表示となります。
この時は、初期画面の入庫予約が消えてからもう一度登録してください。

メッセージは約4秒間点滅します。



- 1件目に入庫操作または出庫操作を行い、その後に再び同じ暗証番号の登録を行う
と操作盤の画面が次の表示となります。
この時は、同じ暗証番号の運転が終了してからもう一度登録してください。

メッセージは約4秒間点滅します。



2.4 緊急時の操作

2.4.1 非常停止

今までの運転操作の要領を正しく守っていただきますと、プレストパーク運転中に緊急非常停止を掛けなければならない様な事態は、ほとんど防止できますが

もし、車両の出し入れ途中、又は運転者、操作員が場内にいるにも関わらず機械が動き出した場合は、最寄りの非常停止ボタンを押して下さい。

非常停止ボタンは場内左右に各1箇所、操作盤に1箇所設置してあります。

(注意) 緊急時以外は非常停止ボタンを押さないで下さい。

自動運転が不能となる場合があります、他の利用者に迷惑が掛かります。

2.4.2 場内に閉じ込められた場合

- 場内に閉じ込められた場合、次の方法で場外に出て下さい。
 - (1) 出入口扉脇にある、出入口扉開用押しボタンを押し、扉を開け外に出る。
 - (2) 避難口誘導灯にて示される非常脱出口を開け外に出る。上記いずれの場合も、機械の動きなどに十分注意して下さい。また、非常脱出口の位置を事前に確認しておいて下さい。

危険

・車両の出し入れ途中、又は運転者、操作員が場内にいるにも関わらず機械が動き出した場合は、非常停止ボタン押して機械を停止させて下さい。

これを怠ると、人身事故等の重大災害につながる場合があります。

・車内に人がいるうちに機械が動き出した場合、車のドアは決して開けないで下さい。

これを怠ると、装置や車の破損、又は人身事故等の重大災害につながる場合があります。

このような場合は、車のクラクション等で場外にいる人に助けを求めて下さい。機械が昇降中に車のドアを開けると重大事故になります。

3. 異常発生時の対処

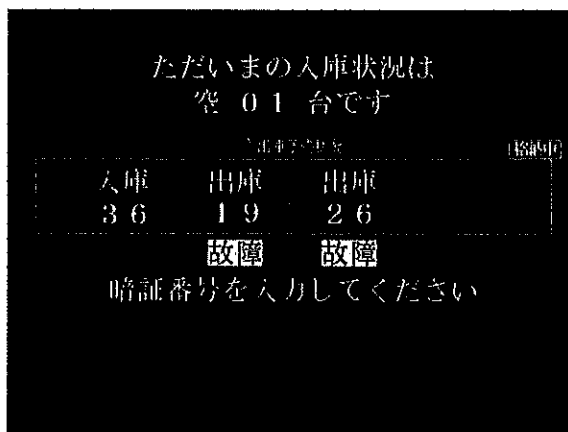
設備使用中、やむなく危険回避等の理由により、機械を停止させることがあります。

この時、操作盤の画面表示が次のようになり、異常番号が表示されます。

この場合、機械の安全性の面からもサービスセンターの点検が必要ですので、異常番号を確認の上、状況をサービスセンターへ連絡してください。

連絡は、操作盤付近に貼ってある緊急連絡先へお願いします。

また、三菱立体駐車場緊急連絡網も御参照下さい。



操作盤の付近にも連絡先のシールが貼ってあります。

▲ 危険

- ・異常が発生した時は、むやみに操作せず、サービスセンターに連絡して下さい。
- ・むやみに操作すると、原因の特定が困難になるばかりでなく装置の破損にもつながります。
- ・これを怠ると、機械の破損、又は人身事故等の重大災害につながる場合があります。

4. 異常コード表

(1/11)

No.	内 容	条 件	チェック項目
01	非常停止	・ 場内、操作盤の非常停止ボタンが押された時 ・ 非常脱出扉が開いた時 自動・半自動：常時検出 手動：常時検出	・ 非常停止ボタンが押されていないか、また非常脱出扉が開いていないか ・ ボタンの接点不良はないか
02	場内安全確認 センサ動作	・ 自動運転立ち上げ時 場内安全確認センサが ON で異常	・ センサの作動チェック ・ 感度のチェック
03	車高オーバー 光電センサ遮光	・ 自動運転立ち上げ時 車高オーバーセンサが ON で異常	・ センサの入力、光軸のチェック ・ 遮光物が無いかの確認
04	車両前はみ出し 光電センサ遮光	・ 自動運転中、乗入階からパレットを格納する際のリフト下降時に乗入階のセンサ ON で異常。	・ 車がパレットよりはみ出していないかチェック（前・後）
05	車両後ろ 光電センサ遮光		
06	車両左 光電センサ遮光		・ 車のドアが開いていないか、車がパレットよりはみ出していないかチェック
07	車両右 光電センサ遮光		
08	欠番		
09	サイクルタイム オーバー	・ 動作モードが規定時間内に終了しない時異常	

No.	内 容	条 件	チェック項目
10	段不一致	・自動運転立ち上げ時、段検出センサが ON していない時 (上下 2 つ)	・各機器の初期条件を確認 (自動運転立ち上げ時のみチェック 機械の状態を確認する意味 での初期条件確認) ・自動運転中にこれらの異常が 発生した時は瞬時停電の 可能性があります
11	旋回装置定位置 外れ	・自動運転立ち上げ時、旋回装置 が定位置にない場合	
12	ロック装置 定位置外れ	・自動運転立ち上げ時、ロック装 置が定位置にない場合	
13	欠番		
14	乗入階光電 センサ遮光	・自動運転立ち上げ時、 乗入階の光電管がどれか 1 つ でも ON していたら異常	・各機器の初期条件を確認 (自動運転立ち上げ時のみチェック 機械の状態を確認する意味 での初期条件確認) ・自動運転中にこれらの異常が 発生した時は瞬時停電の 可能性があります。
15	自動扉開	・自動運転立ち上げ時、 出入口扉が閉まっていない時	
16	消火装置による 非常停止	・消火設備より、設備停止信号を 受け取った時	・消火設備の点検
17	入口部非常停止 光電センサ遮光	・扉全閉で中の機械が動作中、 このセンサが ON したら異常	・センサの入力、光軸のチェック ・遮光物が無いかの確認
18	欠番		
19	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
20	PLC 生存監視 (台車地上制御盤)	・ 台車地上盤の PLC が正常に動作しているか常時チェック	・ 自動運転中にこれらの異常が発生した時は瞬時停電の可能性がありますが
21	PLC 生存監視 (操作盤)	・ 操作盤の PLC が正常に動作しているか常時チェック	
22	PLC 生存監視 (リフト制御盤)	・ リフト制御盤の PLC が正常に動作しているか常時チェック	
23	欠番		
24	欠番		
25	欠番		
26	欠番		
27	欠番		
28	欠番		
29	欠番		
30	出入口扉 動作不良	・ 扉の開閉作動時間の間隔をチェック	・ 出入口扉の全閉LSをチェック
31	欠番		
32	欠番		
33	欠番		
34	欠番		
35	欠番		
36	欠番		
37	欠番		
38	欠番		
39	欠番		
40	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
41	受付モード異常	・受信した動作モードが範囲外の時	
42	受付データ異常	・受信した段データが範囲外の時	
43	通過予約異常	・同一段でリフトと台車の通過予約が同時に ON する場合に発生する異常	
44	台車リフトゾーン進入異常	・リフトが通過する段の範囲内で目的段以外の台車がリフトゾーンに進入した場合に異常	
45	欠番		
46	欠番		
47	欠番		
48	欠番		
49	欠番		
50	昇降インバータ異常	・インバータの異常発生	・車の重量のチェック ・異常リセットする前にインバータのエラー表示を確認する ・機械の状態を確認する
51	欠番		
52	欠番		
53	昇降センサ異常	・リフトが所定の位置で無い ・光電管が正常な順番で動作しない時異常	・実際の搬器がいる段数と操作パネルの段数を確認する ・取り付け位置の確認
54	昇降装置速度未出力検知	・昇降装置に正転、逆転命令が出力されている時、インバータにて速度の出力が出ない	・インバータが PU 運転モードでないか（外部運転が正規） ・信号の入力を確認（インバータ出力 1Hz 以上）
55	欠番		
56	欠番		
57	欠番		
58	欠番		
59	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
60	非常上限LS作動	・昇降装置非常上限のLSがONで異常	・非常上限LSのチェック
61	非常下限LS作動	・昇降装置非常下限のLSがONで異常	・非常下限LSのチェック
62	カウンタウェイト 下限LS作動	・カウンタウェイトの下限LSがONで異常	・カウンタウェイト下限LSのチェック ・チェーンののびをチェック
63	欠番		
64	昇降減速異常	・リフトが高速で上昇または下降中に減速LS作動で異常	・上昇高速カットLSをチェック ・LSの位置をチェック
65	欠番		
66	欠番		
67	欠番		
68	欠番		
69	欠番		
70	欠番		
71	欠番		
72	ロック装置 過負荷	・旋回装置無ロック装置の過負荷	・旋回装置制御盤のサーマルリレーをリセットした後、機械の位置をチェック ・車の重量チェック
73	欠番		
74	欠番		
75	欠番		
76	欠番		
77	欠番		
78	欠番		
79	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
80	旋回装置 インバータ異常	・ 旋回装置のインバータの異常	・ 車の重量をチェック ・ 異常発生する前にインバータのエラー表示を確認する ・ 加減速時間の確認 ・ 停止LSが入る前にハストッパーに当たっていないか ・ ブレーキ用MCにバリスタが取り付けられているか
81	旋回装置 定位置外れ	・ リフトが昇降中に旋回装置の停止ゾーン(馬蹄型光電センサ)が外れた時異常 ・ 旋回終了後に定位置が定位置に停止しない場合異常	・ 馬蹄型光電管の動作チェック
82	旋回装置 サイクルタイムオーバー	・ 一定時間内に動作が終了しなかった時	・ 馬蹄型の動作チェック ・ 上限LS、(ねじの緩み等)
83	旋回装置 ロック装置過負荷	・ ロック装置の過負荷 (旋回装置有の場合のみ)	・ 地上制御盤のサーマルリレーをリセットした後、機械の位置をチェック ・ 車の重量チェック
84	欠番		
85	欠番		
86	欠番		
87	欠番		
88	欠番		
89	欠番		
99	メンテナンス 異常	・ 柵データメンテナンスが正常に登録されていない時に自動への切替時にチェック	・ 柵データメンテナンスを正常に登録する

*は台車No.を表す

(7/11)

No.	内 容	条 件	チェック項目
*00	欠番		
*01	台車非常停止	・台車地上盤から全台車非常停止	
*02	PLC 生存監視 (リフト盤)	・リフト盤P L Cからの信号が送信されているかチェック	・自動運転中にこれらの異常が発生した時は瞬時停電の可能性あります
*03	PLC 生存監視 (操作盤)	・操作盤P L Cからの信号が送信されているかチェック	
*04	欠番		
*05	欠番		
*06	欠番		
*07	欠番		
*08	欠番		
*09	欠番		
*10	番地不一致	・オンライン信号受信時、台車が定位置にない場合	
*11	在リフトゾーン	・自動運転立ち上げ時、台車がリフトゾーン内で停止しているとき	
*12	上段コンベア 定位置はずれ	・オンライン信号受信時、上段コンベアが定位置にない場合	
*13	下段コンベア 定位置はずれ	・オンライン信号受信時、下段コンベアが定位置にない場合	
*14	欠番		
*15	リフト 位置はずれ	・オンライン信号受信時、台車のリフトが定位置にない場合（ピットレス台車）	
*16	光空間伝送装置 遮光	・自動運転立ち上げ時、台車からの信号が正常に受信できない場合	
*17	パレット 格納異常	・普通車用の棚にハイルーフ車を格納しようとした時	
*18	欠番		
*19	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
*20	番地はずれ	・ 走行リトライを2回行っても 定位置停止できない場合	
*21	番地ずれ	・ 走行中にエンコーダーの値が 正規の値と一致していない場 合	
*22	前進時番地 カウントダウン	・ 前進時に番地アドレスが減算 された場合	
*23	後退時番地 カウントアップ	・ 後退時に番地アドレスが増加 した場合	
*24	センサ異常	・ 走行用の馬蹄型光電センサの 動作確認	
*25	減速不良	・ 高速のまま目的番地へ到達し 停止したとき	
*26	パレットロック不良	・ 取出し動作後チェック、又は H/P から格納時のセンタリン グ不良の場合	
*27	セパ動作異常	・ コンベアが行き過ぎてしまっ たとき異常	
*28	リフタリフト異常	・ リフタチェーン用近接 SW の ON、OFF のタイマが ON した ときに異常	
*29	欠番		
*30	欠番		
*31	欠番		
*32	走行限 LS 作動	・ 前進限、または後退限の LS を 検地した時	
*33	欠番		
*34	欠番		
*35	搬器アーム LS 異常	・ 搬器アームが脱している時 (ピットレス台車のみ)	
*36	欠番		
*37	欠番		
*38	欠番		
*39	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
*40	走行・下段 インバータ異常	・走行、下段コンベアのインバータ異常	
*41	横行 インバータ異常	・上段コンベアのインバータ異常	
*42	速度未出力	・正転・逆転命令が出力されている時、インバータにて速度の出力が出ない	
*43	欠番		
*44	欠番		
*45	走行 サーマル作動	走行サーマルの過負荷	・サーマルリレーをリセットした後、機械の位置をチェック ・停止用 LS の位置のチェック
*46	下段 サーマル作動	下段サーマルの過負荷	
*47	リフタ サーマル作動	台車リフタの過負荷	
*48	欠番		
*49	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
*50	サイクルタイム オーバ	・ 台車の走行が一定時間内に完了しないとき	
*51	取出サイクル タイムオーバ	・ 台車取出し動作が一定時間内に完了しないとき	
*52	格納サイクル タイムオーバ	・ 台車格納動作が一定時間内に完了しないとき	
*53	リフタサイクル タイムオーバ	・ 台車リフタ昇降動作が一定時間内に完了しないとき	
*54	欠番		
*55	受付モード異常	・ 受信した動作モードが異常の時 ・ 受信したパレット番号が0以下、 又は収容台数以上の時	
*56	受付データ異常	・ 受信した番地データが異常の時	
*57	光空間タイムアウト	・ 台車側と地上盤でお互いのデータ 交信をチェックし全て OFF 状態が3秒以上続くと異常	
*58	光空間タイムアウト		
*59	2重取出	・ 取出し指令受信時、在荷センサ が入っていれば異常	
*60	作業モード異常	台車上にパレットが無いときに H/P 移動命令を受信したときに 異常	
*61	パレット取出し 不良	取出動作後、パレット検出センサ (2台) がいずれも OFF してい れば異常	
*62	欠番		
*63	欠番		
*64	欠番		
*65	欠番		
*66	欠番		
*67	欠番		
*68	欠番		
*69	欠番		

No.	内 容	条 件	チェック項目
*70	走行リトライ中	・自動、半自動走行時の走行リトライ中に出力	
*71	前進高速カット LS 作動	・台車が高速で前進中、前進高速 カット LS 作動で異常	
*72	後退高速カット	・台車が高速で後退中、後退高速 カット LS 作動で異常	
*73	パレット センタリング中	・自動時、搬器からパレットを受 け渡された時に異常	
*74	欠番		
*75	欠番		
*76	欠番		
*77	欠番		
*78	欠番		
*79	欠番		

注意)

この、異常コード表は三菱プレストパーク共通のコード表です。プレストパークの型式によつては発生しえない異常番号も本表には含まれています。

また、異常発生時操作盤の画面に異常番号が表示されますが、番号により内容が表示されない場合があります。

5. 地震発生時の対処

- 地震発生直後、地震による災害防止のため、駐車場管理責任者の方は、次の対処をして二次災害の防止につとめてください。
- ・ 出入口扉が開いて、車両出し入れ最中に地震が発生した時は、立体駐車場場内、車内に人がいる場合、直ちに場外へ退出させて下さい。
- ・ 地震が治まった後、震度が4以下であれば、駐車場の運転を続行できます。ただし、操作盤の画面表示に異常番号が表示されている場合や、動かし始めて異常番号が表示された場合は、必ずサービスセンターへ連絡して下さい。
- ・ 震度5以上の地震、又は同等レベルの地震が発生した時は、駐車場設備の点検が必要です。異常表示が出ていない場合でも必ずサービスセンターへ連絡して下さい。

▲ 危険

・地震により、異常が発生した時は、むやみに操作せず、必ずサービスセンターに連絡して下さい。
むやみに操作すると、二次災害に至る恐れがあります。
これを怠ると、機械の破損、又は人身事故等の重大災害につながる場合があります。

三菱立体駐車場緊急連絡網

「エコー天王寺（大阪市阿倍野区）の立体駐車場です。故障が発生しました。
故障の内容は・・・」とって下記の緊急連絡先に電話して下さい。

お 客 様

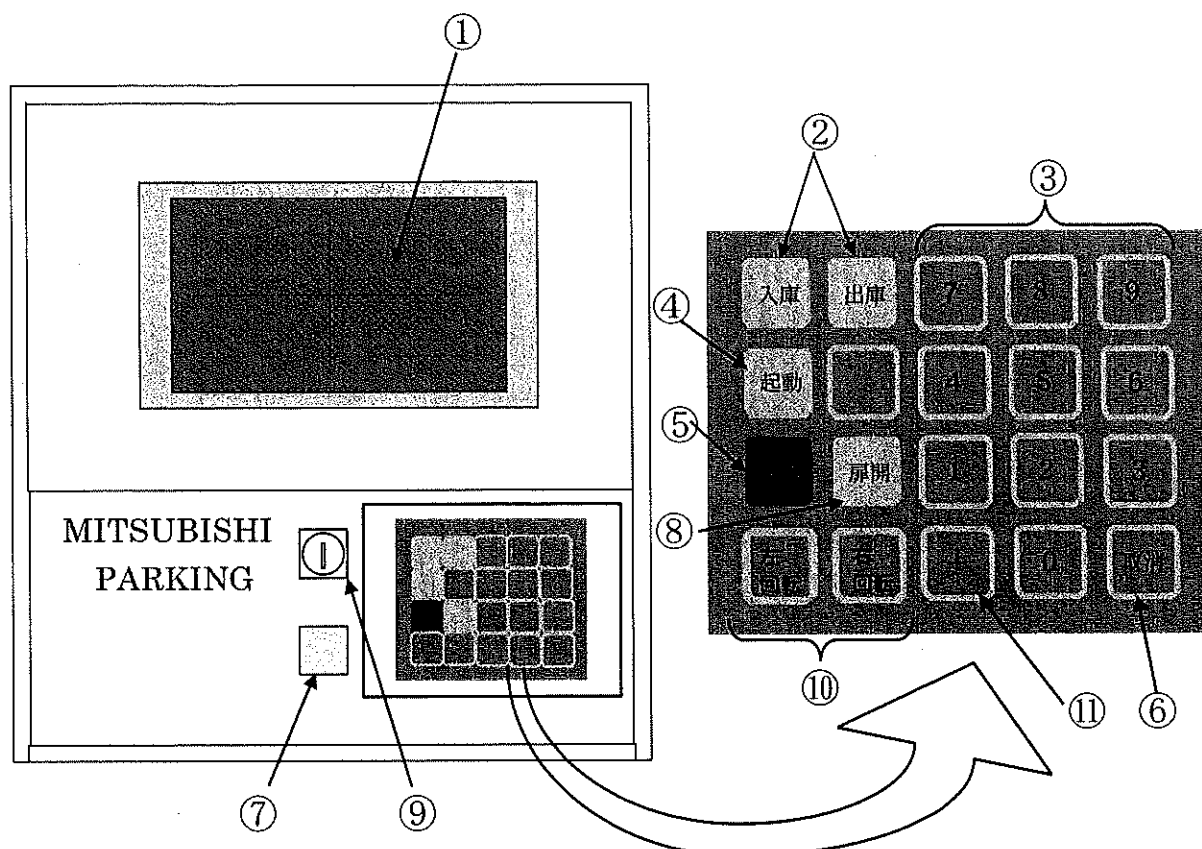
石田エンジニアリング(株) 大阪支店
平日・休日 AM 8:30～PM 7:00
06-6463-2306
平日・休日（夜間） PM 7:00～AM 8:30
06-6463-2432

三菱重工パーキング建設(株) 関西支社
平日 AM 8:45～PM 5:30
06-6446-4084

三菱重工業(株) 横浜製作所
鉄構プラント部
立駐サービスセンター
平日 AM 8:30～PM 5:30
045-629-1357
E-MAIL:hpuser@d.ydmw.mhi.co.jp

三菱重工業(株) 関西支社
都市施設課
06-6446-4013

付図 操作盤外形図



- | | |
|-----------------------|--|
| ① ディスプレイ
(タッチパネル) | ●対話形式の画面表示で、操作の案内をします。 |
| ② 入出庫ボタン | ●パレットNo.入力運転で、入出庫の操作時に使用します。 |
| ③ テンキー押しボタン | ●自動Ⅰ運転時、パレット番号の入力に使用します。
また、自動Ⅱ運転時、暗証番号の入力に使用します。 |
| ④ 起動ボタン | ●パレット番号入力後、又は暗証番号入力後、機械を動かす時に使用します。 |
| ⑤ 扉閉ボタン | ●車が入出庫終了後、扉を閉める時に使用します。 |
| ⑥ 取消ボタン | ●入出庫を取り止める時に使用します。また、誤った番号を入力した時の表示のクリアに使用します。 |
| ⑦ 非常停止ボタン | ●緊急時、このボタンを押して機械を止めて下さい。 |
| ⑧ 扉閉ボタン | ●未使用 (メンテナンス時使用します) |
| ⑨ 自動、メンテナンス
切換スイッチ | ●未使用 (メンテナンス時使用します) |
| ⑩ ターンテーブル
回転ボタン | ●立体駐車場の外にターンテーブルがある場合の回転に使用します。 |
| ⑪ +ボタン | ●入庫状況画面を取替える際に使用します。 |



三菱7.5レストパーク
長さ5,000mm×幅1,850mm×高さ1,550mm 重量2,000kg
ドアミラーを**ちゃんと**入庫して下さい。
ドアミラーがバレットよりはのべー... 入庫できないことがあります。

高さ制限 1.55M



ご利用のお客様へ
駐車場の利用について
注意事項
① 駐車スペースの確保
② 駐車スペースの整理
③ 駐車スペースの清掃
④ 駐車スペースの安全



注意
駐車場内には運転手以外は
絶対に入らないで下さい。
事故につながる恐れがあります。

★ 注意 ★
最低地上高さ12cm未満は
駐車できません



ご利用のお客様へ
下記の注意をお守りください
機械式駐車場はセンサー
働き止まってしまいます。
① サイドミラーの収納
② 前輪停止位置で止め
③ パーキングブレーキは
しっかりとかけして下さい
JMPビル何号
管理事

